

第5回 阪南市総合計画審議会 要旨

日時：令和3年6月28日（月） 10:00～12:00

場所：阪南市役所別棟1階 第2会議室

●資料説明等について

- ・修正点、前回からの変更等について共有（資料1）
- ・基本目標について議論いただきたい点の説明（資料2）
- ・基本計画のプロット図等・施策の体系の説明（資料4・5）

●基本構想について

- ・基本目標の項目、5節だけ「未来都市」となっていて他のものと表現が違うのではないか（「まち」かえてはいいかがか）。カタカナ語・英語の省略後については注釈や用語集を入れていただきたい。
- ・専門用語については、具体的に内容がわかるように記載いただきたい。
- ・5節について、旧5節には環境に配慮した旨の記載がなかったため、「環境に配慮された」というものだけではないと感じている
- ・5節については、産業育成等の文言を入れてはいいかがか
- ・第4節では学ぶ仕組みと市内へのフィードバックの仕組みが表現できるとなおよい

委員長

- ・4節の中で地域振興の取組みについても記載する必要がある
- ・担当部署だけではなく、部署ごとの連携がわかるような文言を入れていただきたい（・長崎市による道路確認の事例）

市民委員

- ・追加部分の記載、基本計画に特定の文言を入れたいと想定されていると思うが、何をいれたいかよくわからない。
- ・P22の5節の4つ目の文章については、詳しくない人には難しいためもっとわかりやすい形にしたい。
- ・第2節と4節との明らかな違いが分かりづらい、個人の「いきいき」のイメージが違うのではないか。また、「いきいき」と感じてない方を排除するような意味合いにならないのではないか。2節「すこやか、おだやか」に文言変更してはいいかがか
- ・第4節2つ目、仕事をしていない親もいるため、文言が変更できないか

●基本計画について

- ・過去の推移を踏まえた計画になっているか不明瞭。今までの10年を反省してそれを反映した計画にして、実践していただければならないと感じている。
- ・全体のストーリーがわかりやすくなるようにしていただきたい
- ・「1-1 市民共創社会の形成と促進」について、アイデアがあっても推進する力がない市民の小さな声をひろって、政策に生かしていただきたいのでその旨を入れていただきたい。
- ・資料3について、個別計画と事務事業が混在しているように思われるところがある。検討していく項目と現行の施策項目がわかるようにマークをつけてはいいかがか。

- ・抜けている箇所がないかのチェックを、資料3をもとに確認すべき。個別計画の列挙とともに、主体を分けてアクションについても計画をチェックしてはどうか（現行のままでいいか 等）
- ・現総合計画は、指標が少し弱いと感じているが改善は可能か。
- ・SWOT 分析の結果が基本計画のどこに反映されているかわからないため、見えるようにしていただきたい。
- ・官民連携を推進するまちづくりを追記されているが、5節についてはタイトルを変える必要がある。
- ・5節にスモールビジネスの観点を盛り込めないか検討いただきたい。住んでおられる方一人ひとりが一歩踏み出せるように記載いただきたい。（商工業の振興の題名を変えるなど、市民の方が自分事としてとらえられるようにする）
- ・市役所の体質改善にも言及した項目も入れていただきたい。
- ・審議会の内容をわかりやすい方法で広報する必要があるのではないか。お金を使わずに発信する方法等でもっとPRした方がいいと思う。
- ・一般の人が見てもわかりやすいようにしていただきたい（文字が多い）。情報収集の方法に世代によって格差があるので、オフラインとオンラインの共存などについて記載されている項目があるといいと思う。
- ・高齢者にもわかりやすい文章にしていきたい。
- ・高齢の買い物難民にも対応した項目をいれていただきたい。
- ・資料3「個別計画」の中にどこの課が担当しているか併記いただきたい。
- ・資料4「みんなの役割」は世代などいくつかに分けていただいて、明記いただいた方がいいのではないかと。ターゲットを絞ることで、自分事になりやすいのではないかと。
- ・「保護者、地域の人の子育てについて学ぶ」ということもどこか記載いただきたい。
- ・人を呼び込むための取組み（東北への新聞折り込み・空家を使えるようにする 等）を進めていただきたい。
- ・尾崎駅の駅名を「阪南市駅」に変えてもらうよう南海電鉄に交渉していただきたい。

委員長

- ・資料4のすべての項目がすべて連携しているか確認しながら記載いただきたい
- ・それぞれのページの方向性を表しているのは、P20、P21のたくさんのまるが基本計画のどこを指示しているかの対応表を作り、点検をお願いしたい。細かい資料になっているので、方向性のチェック・評価をできるような仕様にしていきたい
- ・ワンアクションなので、「一歩先行く施策」を1つ以上作り、どれなのか、わかりやすくなるようにしていただきたい。
- ・他市も含めた事例集を入れてはどうか。
- ・分野ごとの審議会や計画との関係性を踏まえながら議論をするとともに、それぞれの分野が横断的に取組んでいるかなどのチェックもしていく方が良い。
- ・指標については、代表的なものを設定しているため、指標が代表的なものになっているかを市民委員には確認いただきたい。
- ・今まで誰もやってこなかった施策が計画の中で出てくるようにしていただきたい
- ・「地域や社会に開かれた学校運営」の項目を追加するなど、検討いただきたい。
- ・総合戦略の内容を共有して、10年後の過ごし方などを提示するなどはどうか。
- ・尼崎は、「45人のまちづくりブック」を作り、総合計画の中身がわかりやすいようにした。本体がわかりやすくなるような副読本を作成してはどうか。
- ・みんなの役割は誰をパートナーとして想定してされているかわかりやすくしていただきたい。

- ・市立中央図書館などの事例を参考に、生涯学習の取組みをすすめていただきたい。
- ・広報は情報を限定的に絞ったほうが効果的であるため、内容含め今後議論していきたい。